

IR REPORT

第61期 第2四半期報告書
2023年4月1日～2023年9月30日



ウェスロックホールディングス株式会社
Wavelock Holdings Co., Ltd.

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援、ご厚情を賜り、心よりお礼申し上げます。

今期前半の当社グループにおける最大のアクションは、アールピエ東プラ株式会社（以下、「RP東プラ」）との資本業務提携だと考えています。持分法投資利益の取り込みによる財務上の数値に与える影響はもとより、業務上の連携により当社グループおよびRP東プラグループの事業発展、事業再構築に今後大きく寄与するものと認識しております。現在、両社の生産効率向上、売上高向上、コスト削減を達成すべく5つのタスクを抽出しプロジェクト的に推進しております。両社の将来に大きく影響する当該資本業務提携を意義あるものにしていくよう引き続き努力を積み重ねていく所存です。

今期第2四半期累計の当社グループの業績は、売上高11,774百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益476百万円（同6.2%増）、経常利益638百万円（同2.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益427百万円（同81.3%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前期に子会社株式売却益が大きく計上されたため今期は大幅減益となりましたが、売上高、営業利益では増収増益となりました。これは原材料価格やユーティリティコストの上昇分を売価転嫁したことや、一部の不採算の製品について大幅な売価変更を行ったこと、また厳しい環境を前提としたコスト見直し等が奏功したものです。

今期通期の業績予想は、売上高22,800百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益400百万円（同15.5%増）、経常利益660百万円（同8.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益420百万円（同81.9%減）です。営業利益については、前年同期比で

は大きく上乗せができることを見込んでおりましたが、原材料価格の上昇圧力が強くなってきていること、マテリアルソリューション事業における地中熱ビジネスの業績予想を下げざるを得ないこと等の理由から、下期においては利益を積み上げるのが難しくなると考えております。

地中熱ビジネスは、今期700百万円の売上を目標に掲げておりましたが、事業担当スタッフの経験値が大型物件を複数追いかけるにはまだ足りない部分もあり、今期は比較的小さい案件で成功体験を積むことに専念するという方針へ変更しました。これにより今期の売上予想は130百万円程度となりますが、今後の市場の成長見込みは引き続き強いと認識しております。新しい事業を成功させることには困難がつきものですが、環境面での貢献、利用者の空間クオリティを高める貢献という側面は、引き続きマーケットから求められるものだと考え、この事業を成長させることで新たな価値提供を実現していきたいと思っております。

事業環境的にはまだまだ大変な状況が続きますが、創意工夫、新たなチャレンジを重ねることで企業価値を高めていく所存ですので、株主様におかれましては引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役 兼
執行役員社長

石原 智憲

RP東プラと連携し、 両社の事業拡大と企業価値向上を目指す

成熟化が進むプラスチック業界で持続的な成長を実現するため、2023年6月にRP東プラ(株)と資本業務提携を締結しました。当社の上條副社長に、その背景や期待するシナジー、今後の展望などについて聞きました。

ウェーブロックホールディングス(株)
取締役 兼 執行役員副社長
上條 誠



Q RP東プラと資本業務提携を行った背景を教えてください。

資本業務提携の目的を一言でいうと、グループ事業基盤の拡大です。私たちが属するプラスチック製品業界では、付加価値の高い製品が生まれてくる一方、汎用的な製品の領域で成熟化が進み、企業や設備の統廃合や再編が進んでいます。そうしたなかで、より良い製品をお客様や市場にお届けし続けるためには、一定の事業規模を備えることが必要です。RP東プラ(株)はプラスチック成形にかかわる様々な技術力を有していることなどから、連携して事業規模を拡大し、強みを融合することで優位なポジションをとることができると考え、資本業務提携に踏み出すことを決断しました。これにより、商品層の拡大や生産能力の増強、技術スタッフなどの人的資源や顧客基盤の拡充など、様々な面での強化が図れます。両社合計の売上規模は500億円を超え、提携が深まれば、成長に必要な投資を効率良く進めることも可能になります。

Q ウェーブロックグループとRP東プラそれぞれの特徴と違いを教えてください。

両社とも用途の裾野が広いと、重なる分野が多くあるように見えますが、製品の中身はかなり違っており、シナジーを創出する素地が多くあると考えています。まず、素材については、当社はPP(ポリプロピレン)やPVC(ポリ塩化ビニル)を原材料にしたシートや糸が主力ですが、RP東プラはPET(ポリエステル)を原材料にしたシートが主力製品です。次に、技術ノウハウについては、当社は複数の素材や樹脂を組み合わせることに強みを持っていますが、RP東プラは小型から大型まで樹脂の成形加工にも強みがあります。最後に、製造拠点の海外展開についても、当社は中国と北米に、RP東プラはASEAN域内のベトナム、インドネシアに拠点を持っており、地

域的な重複はなく海外市場でも提携の効果を期待できます。

Q 両社が連携することで、具体的にどのようなシナジーが期待できるのでしょうか？

いろいろ期待できると思いますが、6つの領域において、具体的なシナジーの創出に向けた検討を両社で行っています。

領域	具体的な取り組み事例
生産	両社でそれぞれ行っている食品用包材の製造集約化
購買	生産集約化に紐づく原料共同購買、主原料の最適共同購買
物流	配送ルートや在庫拠点の相互活用による共同配送
営業	相互の技術を活用した製品展開による新規顧客とニーズの開拓
環境	両社が持つ素材・加工技術を活かした環境負荷低減につながる新製品の上市
海外展開	両社の製品・拠点を活用した地場顧客の発掘、現地生産化に向けた共同戦略の構築

業績へのインパクトのコアな部分は資本提携の進み方によりませんが、業務提携による定性・定量面での一定の効果は来期からの中計期間内には出てくると期待しています。

Q プラスチックが環境面に及ぼす影響は世界的にも関心の高いテーマです。両社の考え方と取り組みを教えてください。

環境負荷低減が求められる社会環境の変化のなかで、これに貢献する取り組みは、企業として必須であり、また、将来のビジネスを創出する機会でもあります。プラスチック関連業界、さらにはその上流にある石油化学産業においては、各企業が、プラスチックの使用量削減やリサイクル、新素材での製品開発などを、次代への対応として10年の計で試

行錯誤している状況にあります。

当社でも、既に植物由来や生分解素材*を組み合わせた様々な製品の開発が進んでいますし、主力製品の一つである金属調加飾フィルムは、メッキや塗装よりも環境負荷が低いことが評価され広く活用されてきています。また、地中熱交換システムによるCO₂削減に向けたソリューション提供といった、プラスチック製品の製造販売にとどまらない新しい取り組みも進めています。

一方、RP東プラも「環境」を最重要キーワードとして多くの取り組みを行っており、環境負荷低減につながる材料やリサイクル原料を活用した新製品の開発を行っています。特に、リサイクル原料を使って良質なPET(ポリエステル)製品を製造する知見・技術は、業界トップクラスといっても過言ではありません。

両社が持つ技術・ノウハウを融合し、循環型で持続可能な製品やサービスを市場に提供し続けることを目指します。

*微生物に分解されて自然に還る素材のこと

Q 最後に、両社で目指す将来像と連携の深化のための施策を教えてください。

両社の強みを融合し、長期的かつ継続的にお客様ニーズに合致した新製品、付加価値の高い製品を国内外に提供し続ける企業を目指すのが共通のビジョンです。その実現に向け、両社それぞれ足を止めることなく経営課題の解決に取り組みながら、両社で目指す将来像を共有し、パートナーシップを持って共同での取り組みを積み上げていくことが必須だと考えています。

営業や製造の現場、間接部門の社員の皆さんともこうした考え方を共有するとともに、経営陣の強い思いとコミットメントを今後も継続して社内外に発信し続けていきます。

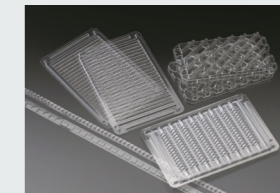
RP東プラはどのような会社？

今日まで70年以上にわたり独自の技術を発展させ、住宅、家電、自動車、医療、環境など幅広い分野で、私たちの快適な暮らしを支える多彩なプラスチック製品や部品を作り続けています。また、食品に直接触れるプラスチック食品包装容器などを製造しているため、衛生・安全性を徹底しています。環境対応にも注力しており、既にPET(ポリエステル)のリサイクル材料から製品の一貫体制を構築し、太陽光パネルの設置やエネルギーの効率的な使用にも積極的に取り組んでいます。



● 主要製品

「シート事業」で生産するプラスチックシートは、食品包装資材や工業部品などに広く使用され、「プロダクト事業」ではお客様ニーズに応じた様々な品質・形状の精密プラスチック成形や組立を行っています。2023年10月に事業承継した「容器事業」では、軽量で丈夫、使いやすさと美しさを追求した様々な形状や容量の食品・飲料用容器を提供しています。



シート事業
部品トレー向け
ボトルフレックを
使用したリサイクル
PET(ポリエステル)
シート



容器事業
飲料用容器向け
環境素材を使用した
軽量素材カップ、
ストローレスリッド



プロダクト事業
航空輸送向け
リサイクル材を用いた軽量パレット

● ネットワーク

(2023年10月現在)

- ▶ **本社・営業・開発**……4拠点
本社(大阪府吹田市)
東京支店(東京都千代田区)
関東事業所(群馬県太田市)
中部営業所(愛知県一宮市)
- ▶ **海外工場**……3拠点
東プラ・アバディージャ(インドネシアジャカルタ)
東プラ・ベトナム(ベトナム ハノイ)
東洋プラスチック・マレーシア(マレーシア イポー)
- ▶ **国内工場**……7拠点
札幌工場(北海道札幌市)
関東群馬工場(群馬県邑楽郡)
太田工場(群馬県太田市)
さいたま工場(埼玉県熊谷市)
滋賀電王工場(滋賀県湖南市)
滋賀甲西工場(滋賀県湖南市)
和歌山工場(和歌山県日高郡)
- ▶ **関連会社**……2拠点
テクト株式会社(群馬県太田市)
太栄産業株式会社(大阪府南河内郡)

● 会社概要

会社名	RP東プラ株式会社	当社ホームページは こちらから▼
創業	1953年5月	
本社所在地	大阪府吹田市	
資本金	9億4,372万円	
売上高	231億円(2023年3月期)	
事業内容	プラスチック素材開発、成形加工、 プラスチック製品の製造・販売	

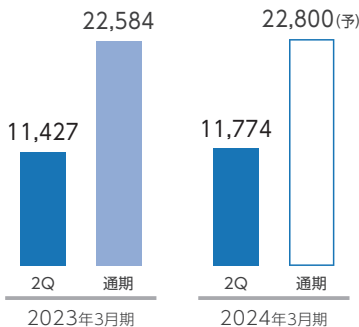
連結財務ハイライト

2023年3月期はクレアネット(株)(旧(株)ウェーブロックインテリア)株式譲渡に伴う特別利益計上により、親会社株主に帰属する当期純利益が増加しております。

■ 第2四半期累計 ■ 通期

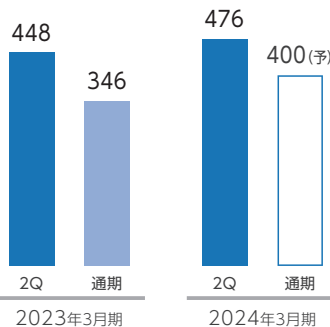
売上高

(単位:百万円)



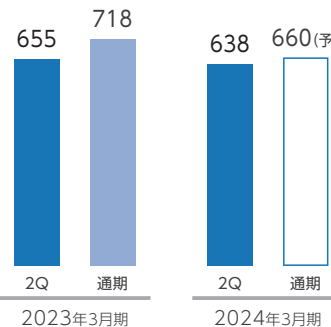
営業利益

(単位:百万円)



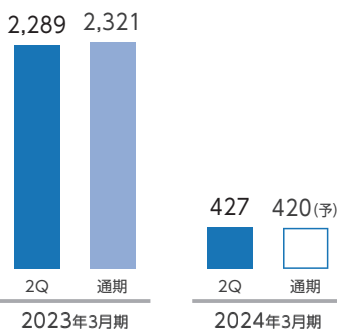
経常利益

(単位:百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



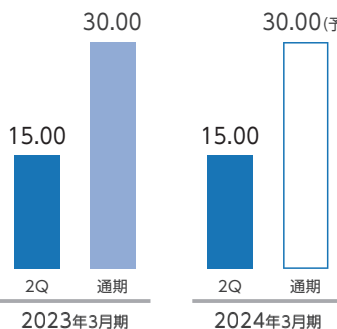
1株当たり当期純利益

(単位:円)



1株当たり配当金

(単位:円)



会社 / 投資家情報

会社概要

(2023年9月30日現在)

商号 ウェーブロックホールディングス株式会社
(Wavelock Holdings Co., Ltd.)
代表者 代表取締役兼執行役員社長 石原 智憲
設立 1964年(昭和39年)6月20日
事業内容 持株会社、グループ全体の戦略策定、
資源配分、経営管理
資本金 21億8,504万円
本社 〒104-0044
東京都中央区明石町8-1 聖路加タワー13F
従業員数 (単独)48人(連結)609人
グループ会社 連結子会社10社/非連結子会社1社
持分法適用関連会社2社
主要事業会社 株式会社イノベックス(マテリアルソリューション事業)
株式会社ウェーブロック・アドバンス・テクノロジー
(アドバンステクノロジー事業)

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
期末配当金 株主確定日 3月31日
中間配当金 株主確定日 9月30日
単元株式数 100株
公告方法 当社の公告方法は、電子公告としております。
ただし、事故その他のやむを得ない事由によっ
て電子公告による公告をすることができない
場合は、日本経済新聞に掲載して行きます。な
お、電子公告は当社のウェブサイトに掲載して
おり、そのアドレスは次のとおりです。
<https://www.wavelock-holdings.com/>
お取扱窓口 お取引の証券会社等。特別口座管理の場合
は、特別口座管理機関のお取扱店。
特別口座管理機関 みずほ信託銀行*
お取扱店 フリーダイヤル 0120-288-324
(土・日・祝日を除く9:00~17:00)
未払配当金のお支払 みずほ信託銀行*およびみずほ銀行
(みずほ証券では取次のみとなります)

* トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。



ウェーブロックホールディングス株式会社
Wavelock Holdings Co., Ltd.

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、みずほ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(みずほ信託銀行)にお問合せください。なお、みずほ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。